

平成30年 5月 9日
岐阜県立飛騨高山高等学校
国土交通省高山国道事務所

移植後4年目のギフチョウ産卵状況調査

～飛騨高山高校の生徒による移植後の産卵状況調査を行います～

- 概要** : 高山国道事務所では、道路建設に伴い絶滅のおそれのある重要な種を移植するなどの保全対策を進めております。
平成26年度、道路予定地内で確認された重要な種であるギフチョウの卵と食草（ヒメカンアオイ）の移植作業を行いました。
飛騨高山高校の生徒と移植先におけるギフチョウの産卵状況、食草（ヒメカンアオイ）の生育状況の調査を行うことで、工事現場周辺における環境影響について簡単な確認を行います。
- 日時** : 平成30年 5月14日（月）14:00～16:00
【予備日 5月18日（金）14:00～16:00】
- 場所** : 中部縦貫自動車道高山清見道路4工区
（高山IC－丹生川IC＜仮称＞）建設予定地内
- 参加者** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生6名
【予備日 3年生6名】
- 添付資料** : 別紙1～2のとおり
- 配布先** : 高山記者クラブ
- 問合せ先** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
環境科学科 原 康彰（はら やすあき）
TEL 0577-33-1060
FAX 0577-32-8994

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
計画課長 奥田 清典（おくだ きよのり）
TEL 0577-36-3822
FAX 0577-36-3801

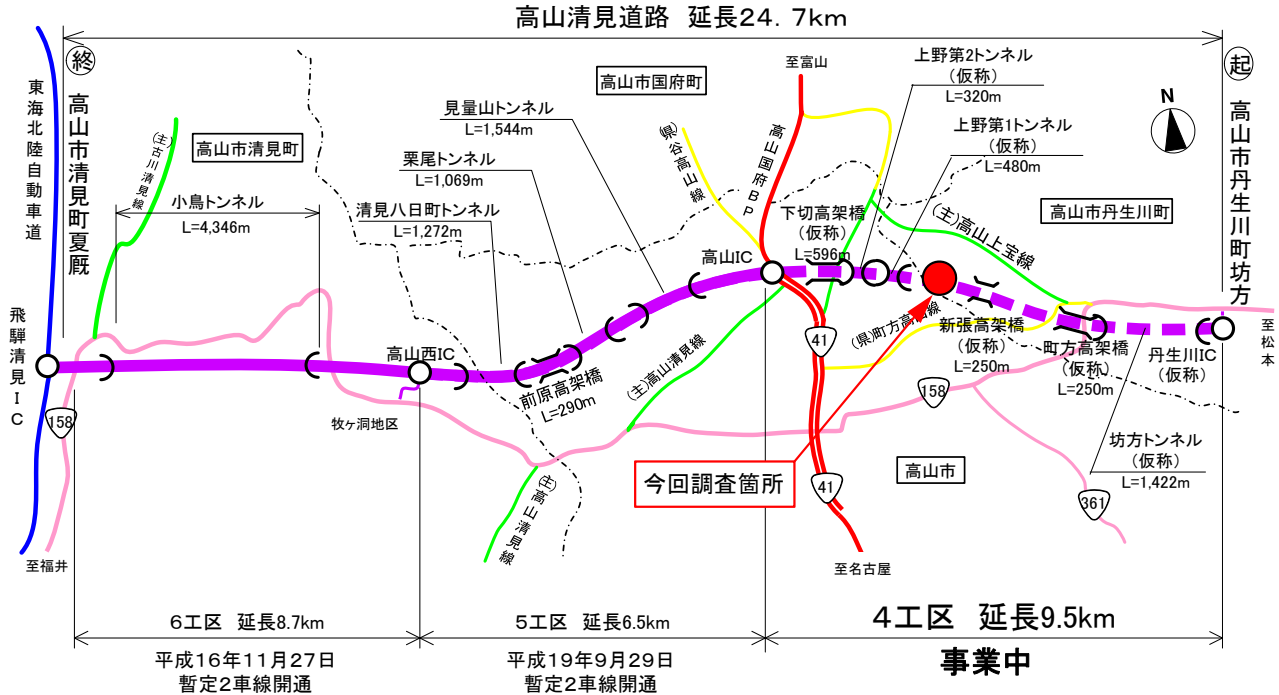


別紙-1

1. 中部縦貫自動車道高山清見道路4工区 環境配慮経緯

中部縦貫自動車道高山清見道路4工区（高山IC～丹生川IC【仮称】）建設予定地内には、絶滅のおそれのある重要な種が確認されており、高山国道事務所では、これらの重要な種に配慮するため、移植など様々な保全対策を進めております。

平成26年度、建設予定地内で確認された重要な種であるギフチョウの卵がついたヒメカンアオイ（ギフチョウの食草）を、飛騨高山高校と高山国道事務所が協働して移植作業を行いました。以後、毎年移植後のモニタリング調査を実施しております。



2. 学習内容

今回の学習では、飛騨生態調査研究室代表の大森清孝先生と「ギフチョウの翔ぶ里山の自然を考える会」会長の鈴木俊文先生を講師としてお招きし、飛騨高山高校環境科学科2年生6名が、保全対策として森林内に移植したヒメカンアオイの生育状況とギフチョウの産卵状況の調査を行います。

昨年度の学習状況(平成29年5月15日実施)



【ヒメカンアオイについて説明する鈴木俊文先生】

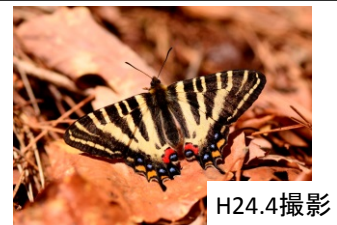


【ヒメカンアオイの生育状況調査】



【確認したギフチョウの卵塊】

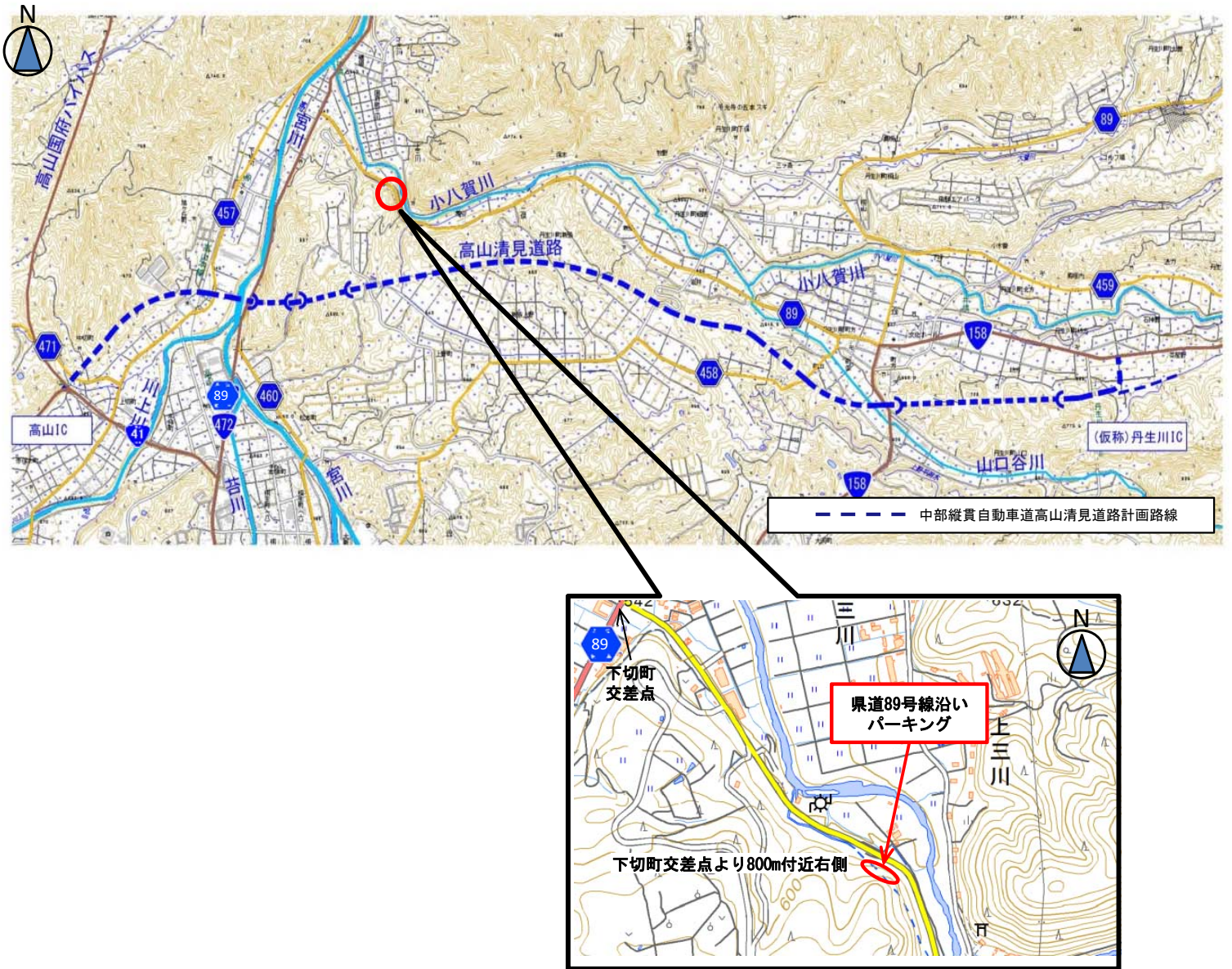
ギフチョウ：
環境省レッドリストで絶滅危惧 ii 類に指定されている日本固有種。本州の里山に生息するが、近年、里山の放棄や開発等により個体数が著しく減少している。



H24.4撮影

環境学習 実施位置図

実施場所: 高山清見道路4工区 工事予定地



取材希望がございましたら、当日、県道89号線沿いパーキングに13:40迄にお集まり下さい。
動きやすい服装でお越しください。